

保護者様

川崎市立川中島小学校

校長 松下 友子

川中島コミュニティ学校運営協議会会長 清水 仁子

学校評価アンケート結果について

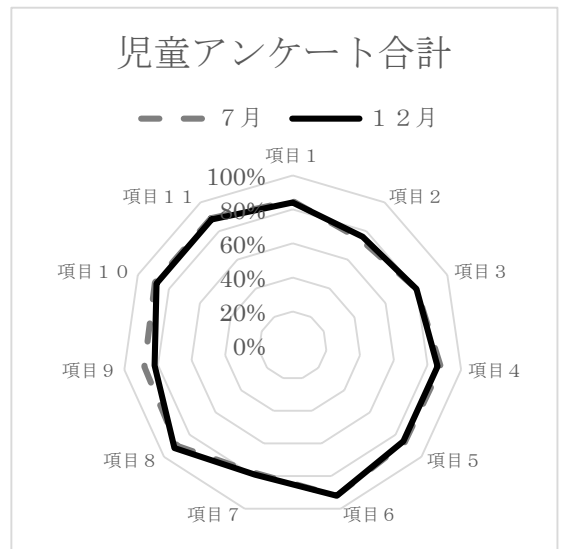
寒さ厳しい中にも、光に輝きを感じる季節となりました。日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、感謝いたします。さて、今年度学校評価アンケートを7月と12月の2回実施させていただきました。今後も、アンケートの結果を真摯に受け止め、川中島コミュニティ学校運営協議会一同、ますますの努力・改善を重ね「子どもが主役」の学校づくりに励んでまいります。今後ともご支援とご協力の程よろしく願います。

%は、⑤「とてもよい」・④「よい」の合計の値です。

() 内数字 (7月アンケート数値→12月アンケート数値)

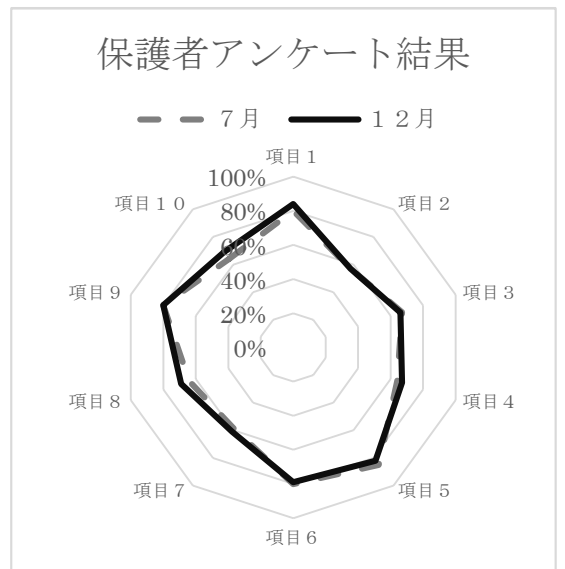
児童アンケート

- 項目1 勉強や係・委員会等で、自分の力をいっぱい出せていますか。(85%→84%)
- 項目2 学校で困ったことや心配なことはありますか。※ない・あまりない(74%→76%)
- 項目3 読み聞かせやお話会などを見聞きして、読書が好きになりましたか。(80%→80%)
- 項目4 地域や学校で気持ちの良いあいさつができますか。(88%→86%)
- 項目5 集会やなかよし班で他学年の友達と仲良くできますか。(87%→86%)
- 項目6 学校でも交通安全の学習をしています、歩いているときや自転車に乗っているとき交通ルールを守っていますか。(92%→92%)
- 項目7 川中島小学校では先生のほかに地域の人が学習サポートをしていることについて知っていますか。(78%→79%)
- 項目8 学校をきれいにするために進んで取り組んでいますか。(90%→92%)
- 項目9 クラスみんなで考える学習やグループでの学習など、いろいろな学習方法がありますが、勉強は楽しいですか。(88%→82%)
- 項目10 授業の中で「できた」「わかった」と思うことはありますか。(89%→88%)
- 項目11 図工の時間に絵をかくたりものをつくったりすることは好きですか。(89%→88%)



保護者アンケート

- 項目1 お子さんは、自信をもって学校生活を送っていると思いますか。(80%→84%)
- 項目2 お子さんは、学校で困ったことや心配なことがありますか。
※ない・あまりない(57%→57%)
- 項目3 お子さんは、学校の読み聞かせやお話会、読書の時間などの活動を通して読書が好きになりましたか。(67%→66%)
- 項目4 お子さんは家庭や地域、学校でしっかり挨拶ができていると思いますか。(64%→67%)
- 項目5 お子さんは、他学年の児童とも仲良く交流できていると思いますか。(85%→82%)
- 項目6 学校では交通安全の学習をしています、お子さんは、道路を歩いているときや自転車に乗っているときに交通ルールを守っていますか。(80%→79%)
- 項目7 川中島小学校はコミュニティスクールです。どんな活動をしているか知っていますか。
(59%→61%)
- 項目8 お子さんは、学校をきれいにするために活動していると思いますか。(64%→69%)
- 項目9 学校では、少人数での学習や外部講師の活用、放課後支援などを行っています、お子さんの学力向上のために効果的であると思いますか。(80%→80%)
- 項目10 お子さんが図工の学習の時間につくった作品をおうちで飾っていますか。(64%→69%)



項目1 子どもの自己肯定感を高める

7月→12月

(児童アンケート) 勉強や係・委員会等で、自分の力をいっぱい出せていますか。(85%→84%)

(保護者アンケート) お子さんは、自信をもって学校生活を送っていると思いますか。(80%→84%)

自己評価 児童、保護者ともに、良い評価が8割を占め、学校に活躍する場があると感じている子が多いことが分かります。学習活動や行事の中で力を発揮し、それが認められることで自己肯定感が育ってきているように思います。これからも子どもたちが活躍できる場を作り、一人一人が力を発揮できるよう、活動のサポートをしていきます。児童の頑張りに対する保護者のあたたかい眼差しや励ましに感謝しています。

学校関係者評価 昨年度は児童、保護者ともに80%前後でしたが、今年度は85%近い数値となりました。学校生活で様々なことを学んだことから、力を発揮できている子が多いことが分かります。今後も学校と保護者で子どもたちを理解し、「ほめる」「認める」ことで、さらに自己肯定感が育つようにサポートできればと思います。

項目2 特別支援の推進(子ども一人ひとりへの配慮)

(児童アンケート) 学校で困ったことや心配なことはありますか。※ない・あまりない(74%→76%)

(保護者アンケート) お子さんは、学校で困ったことや心配なことがありますか。※ない・あまりない(57%→57%)

自己評価 集団生活の中で子どもたちが困ったときに、一人で抱えずに担任の先生をはじめ、学年の先生、児童支援コーディネーター、養護教諭など、身近な大人に相談することを子どもたちに伝えていきます。学校内でも担任一人ではなく支援チームを作り、子どもたちにとってよりよい支援を考えながら対応をしています。これからも保護者との連携を密にして子どもたちの心に寄り添っていきたくと考えています。

学校関係者評価 子どもたちの悩みや困っていることの解消に向け、児童支援体制の拡充に努めていることが分かります。ただ、数は少なくとも困っている子どもがいます。一人一人の子どもに対するきめ細やかな支援チームの活動とともに、保護者との連携をより深めるような手立てを考えていくことも必要に思われます。

項目3 図書活動の推進

(児童アンケート) 読み聞かせやお話し会を見聞きして、読書が好きになりましたか。(80%→80%)

(保護者アンケート) お子さんは、学校の読み聞かせやお話し会、読書の時間などの活動を通して読書が好きになりましたか。(67%→66%)

自己評価 低学年からは入学を期に本に親しむことが増えたという意見が多く聞かれました。ボランティアさんや図書委員の読み聞かせも楽しみにしている児童が多く、2回目のアンケートでも80パーセントの児童が読書が好きだと答えています。中休みには定期的に本を借りに来る子や図書室で本を読む子が多く見られる。一方、高学年では読む機会が少なくなるという意見もありました。高学年の興味をひく蔵書をそろえたり、委員会が中心となってお勧めの本を紹介したりするなどの取り組みをすることで活性化していきたいです。

学校関係者評価 読み聞かせなどを通して読書が好きになったという声が高いのは、読み聞かせを行っている図書ボランティアの方々や図書委員会の子も達にとってとても嬉しい声です。本校には学校司書さんもいます。図書室に本を借りに来たときには相談してみてください。一緒にお気に入りの一冊を見つけてくれると思います。

項目4 進んで挨拶する子どもたち

(児童アンケート) 地域や学校で気持ちの良いあいさつができますか。(88%→86%)

(保護者アンケート) お子さんは、家庭や地域、学校でしっかり挨拶ができていると思いますか。(64%→67%)

自己評価 児童のおよそ9割は、気持ちの良いあいさつをしていると感じています。第2回の保護者アンケートではしっかりあいさつができていると回答された方が増えました。年間を通して全校で行っているあいさつ運動「ニコおは隊」の成果が、校外でも徐々に表れているのではないかと思います。友達と一緒にでないとあいさつが恥ずかしいとの記述も見られましたが、あいさつをすると相手が笑顔になるとのコメントもありました。今後も学校の内外でも、進んで挨拶ができるような取り組みを継続していきたいと考えています。

学校関係者評価 地域教育会議やPTA活動のあいさつ運動をきっかけに、児童の「ニコおは隊」の活動がスタートし、あいさつが定着したように感じています。挨拶を通して地域の方とのコミュニケーションの場も広がり、よいと思います。ただ、さまざまな事件に巻き込まれる心配も考え、誰にどのように挨拶するのがよいか、常に考える必要もあります。

項目5 異学年交流・なかよし班活動

(児童アンケート) 集会やなかよし班で他学年の友達と仲良くできますか。(84%→82%)

(保護者アンケート) お子さんは、他学年の児童とも仲良く交流できていると思いますか。(81%→82%)

自己評価 なかよし班活動では、全学年をそれぞれ組み合わせ合わせた小さなグループ単位で活動を行っています。なかよし班が同じというきっかけから仲良くなり、交友関係が広がっているように感じます。かわりの中で、高学年は低学年の見本として、低学年は高学年の活動の仕方を見て、お互いが新たな学びを得ているように感じられます。グループ内での子どもたち同士のかかわりがさらによりよいものになるよう、今後も活動していけたらと思います。

学校関係者評価 なかよし班の活動では、子ども同士での他学年や高学年との関わり方で「助け合う心」や「思いやる心」を身につけてきたように思います。今後も班の中で学年に応じた役割分担をすることで、自分の居場所を感じ、がんばろう！と自信を持ち達成感にもつながると思います。

項目6 事件・事故に対応する活動

(児童アンケート) 学校でも交通安全の学習をしていますが、歩いている時自転車に乗っている時、交通ルールを守っていますか。(92%→93%)

(保護者アンケート) 学校では交通安全の学習をしていますが、お子さんは、道路を歩いている時や自転車に乗っている時に交通ルールを守っていますか。(80%→79%)

自己評価 日頃の学級指導や長期休業前の指導に加えて、1年生では歩行教室、3年生では自転車安全教室など、外部講師や保護者の皆さんにご協力いただき安全指導に関する取り組みを行っています。今年度から伊勢川中島歩道橋を渡る児童が増えたため歩道橋当番を配置し、事故防止を進めています。日頃の生活においても実践できるように継続して指導しています。

学校関係者評価 伊勢川中島歩道橋でコミュニティ委員が毎週月曜日、PTAが毎週金曜日の朝に見守りを行っています。そうしたことで子どもたちへの注意喚起とともに町の方の意識の変化も感じられ、安全に登校することができています。放課後になると歩道橋を通らなったり、気になる自転車の乗り方などが見られたりしますので、家庭とも協力して対応していくことが必要かと思えます。

項目7 コミュニティスクール

(児童アンケート) 先生のほかに地域の方が学習サポートをしていることについて知っていますか。(78%→79%)

(保護者アンケート) 川中島小学校はコミュニティスクールです。どんな活動をしているか知っていますか。(59%→61%)

自己評価 低学年のニコニコ学習タイム(放課後学習支援)や中休みの漢字・計算マスターになるう(漢字・計算支援)などを行っています。今年度も、各学年がお多くの場面で地域の方々のサポートを受けながら、学びを進めています。校内でのコミュニケーションが基盤となり、町の中で地域の方と出会った際には積極的に挨拶を交わすことができます。コミュニティスクールの活動の様子や取り組みについては、引き続きホームページなどで発信していますので、ご理解とご協力をいただけたらと思います。

学校関係者評価 コミュニティスクールに指定されて13年目。「学校だより」「コミュニティだより」などで活動をお知らせしています。恒例となった活動を充実させると共に、子どもたちを支援する新しい取り組みも考えています。

項目8 環境の整備

(児童アンケート) 学校をきれいにするために進んで取り組んでいますか。(90%→92%)

(保護者アンケート) お子さんは、学校をきれいにするために活動をしていると思いますか。(64%→69%)

自己評価 昨年度に比べどちらも2%上がっています。児童アンケートでは、92%と高い数値となっていますが、保護者アンケートでは69%と児童アンケートの結果よりも下回っています。児童は学校をきれいにするために進んで取り組んでいると感じている子が多いようです。学校での姿を家庭でも伝えられるように、清掃の時間だけでなく、日常的に自分の身の回りの環境を整える意識を向上させていきたいと思ひます。

学校関係者評価 アンケート結果を踏まえ、「学校をきれいにするために活動する」という子どもたちの意識は、毎年高く感じられます。ただ子どもたちに比べ保護者の評価が低いのは、学校での子どもたちの活動をうまく伝えることができているのかと考へています。身の回りのことからはじめ、学校での清掃活動に対して子どもたちに達成感を持たせられるよう取り組んでいければ、保護者にも伝わるのではないかと思ひます。

項目9 きめ細やかな学習 学習形態の工夫

(児童アンケート) クラスみんなで考へる学習やグループでの学習などいろいろな学習方法がありますが、勉強は楽しいですか。(88%→82%)

(保護者アンケート) 学校では、少人数での学習や外部講師の活用、放課後支援などを行っています。お子さんの学力向上のために効果的であると思ひますか。(80%→80%)

自己評価 各学年とも学年級全体で交流活動を行ったり、グループで話し合ったりなどして課題を解決する学習を積極的に取り入れてきました。また、1・2年生の放課後支援、3年生からの算数少人数学習では児童・保護者とも楽しく学習に取り組むことができるとの意見があり成果を感じます。各学年とも年間カリキュラムに外部講師の方に携わっていただく学習を取り入れています。専門性のある方、地域の方と触れ合うことは児童の学習をより深めることになっています。

学校関係者評価 子ども達のアンケート結果を見ると昨年同様前期より後期の評価が下がっています。グループ活動の良さを保護者も感じている反面、それが苦手な子どももいるのだと思ひます。学習形態の工夫を続けながら、子どもたちが若手意識を持たないことに着目することも必要だと思ひます。

項目10 学力向上の取り組み

(児童アンケート) 授業の中で「できた」「わかった」と思ふことはありますか。(89%→88%)

自己評価 88%の児童が学習の中で「できた」「わかった」という達成感を感じていることがわかります。項目9のきめ細やかな学習や学習形態の工夫を意識して行っていることも成果につながっています。また図画工作科の川崎市教育推進校として二年間の研究を進めてきたことで自己肯定感が上がり、いろいろな学習の場面で「できた」という実感をしている児童が増えてきました。今後児童の「できた」「わかった」が確かな学力の向上につながるよう努力をしていきます。

学校関係者評価 毎年高い評価になっている項目ですが、まだ「できた」「わかった」の実感をもてない子どももいます。どんな小さな事でもその子の喜びにつながるよう100%に向かつてほしいと思ひます。

項目11 図画工作科への取り組み

(児童アンケート) 図工の時間に絵をかいたり、ものをつくったりすることは好きですか(89%→88%)

(保護者アンケート) お子さんが図工の学習の時間につくった作品をおうちで飾っていますか(64%→69%)

自己評価 今年度は、授業以外に朝の時間を活用し、図工タイムとして様々な造形活動を行ってきました。また全校図工タイムとして、お花紙を使った造形活動を全校統一した活動を二回行いました。さまざまな造形活動を通して、形や色に触れていくことで、図画工作科が好きな子ども達が育ってきていると感じます。今後も、学習や体験を通して、形や色の面白さや素直さに気づき、生活がより豊かになるよう指導を続けてまいります。

学校関係者評価 自由記述欄の「図工の時間をもっと増やしてほしい」という児童の声から、図工を楽しんでいる気持ちの熱が伝わってきました。他の項目と比べて「とてもそう思ふ」の回答の割合が大きいことにも表れています。友達の作品の良さやアイデアに刺激を受けた感動も児童アンケートに書かれていました。そうした子ども達の感動が家庭に伝わり、作品を飾るおうちも増えてきたことと思ひます。今後も子ども達の感動や意欲を伸ばす取り組みを続けて頂きたいと思ひます。